

平成28年
2月8日

日本政策金融公庫国民生活事業高松支店殿とTKC四国会香川支部との情報交換会

開催報告



平成28年2月8日に、日本政策金融公庫国民生活事業高松支店殿とTKC四国会香川支部との交流会が税理士法人ビジネスソリューションズ丸亀事務所で開催されました。日本政策金融公庫からは笠原支店長をはじめ6名、TKC香川支部からは渡邊支部長以下4名の会員が参加しました。



全国に先駆けて香川支部で日本公庫さん向けに事務所見学会が開催できたことを嬉しく思います。今回、税理士法人ビジネスソリューションズ丸亀事務所を見学事務所に選定しました。所長の田窪先生のリーダーシップにより四国でもトップクラスの事務所です。思う存分見学してってください。

TKC四国会香川支部
渡邊 洋一 支部長



日本政策金融公庫
笠原 真二 支店長

TKC会員事務所が作成する決算書は、日頃から品質が高いと思っております。本日は、その決算書ができあがる過程を勉強して帰りたいと思います。参加者全員大同生命さんのDVDを視聴して臨みました。



TKC四国会香川支部
田窪 滋記 会員

当事務所(TKC会員事務所)の業務の概要

巡回監査では、中小会計要領に準拠した会計処理を指導しています。加えて、税務申告書には税理士法33条の2に基づいた書面を添付しています。この書面は、税理士による税務監査証明ともいえます。これらの事実を記帳適時性証明書が証明しています。金融機関との連携を強化するために、巡回監査、書面添付、中小会計要領、記帳適時性証明書で、税理士による顧問先の決算書の証明力向上に努めています。

また、経営改善計画策定支援事業にも取り組んでおります。会計で会社を強くするために、TKC方式による自計化のシステムを導入して、自社の業績を社長自らが金融機関に説明できるよう経営者の財務経営力の向上を支援しています。

巡回監査では精査(全部監査)が求められています。このため、伝票1枚1枚、仕訳と領収証等一つずつ確認しています。ベテランになると顧問先の経理の流れを見て、どこのポイントで間違いが発生するか見当をつけて確認することができます。入所して間もない職員でも巡回監査ができるよう、TKC会員事務所では「巡回監査支援システム」を活用しています。

経理の細かな内容だけでは社長は興味を示さないため、グラフなどを活用して社長に自社の財務内容を確認していただいています。また、経営計画を作成しない社長には、企業風土診断、企業格付自己診断システムを使うことで興味を示す場合もあります。いろんな切り口から会計で会社を強くする支援を行っています。



TKC四国会香川支部
石島 裕生 会員

日本公庫参加者の皆さんからの感想

- ①TKC会員事務所は、関与先に対してどのように助言・指導しているのかがよく理解できた。
- ②記帳適時性証明書は、非常に信用力が高まるものということがよくわかった。
- ③漠然としていた「会計で会社を強くする」が、本日の見学会でその意味するところがよくわかった。

- ④システムのデータ分析のレベルの高さを知り、経営者の経営指導に役立つものであることを確信できた。
- ⑤データ備蓄の凄さを改めて実感した。今後企業について不明点があった際は是非教えていただきたい。
- ⑥企業格付けや借換対策など、金融機関が検討するようなことまで助言していることに驚いた。
- ⑦TKC会員事務所の巡回監査を受けて、アドバイスを受けられれば、経営者は会社を元気にすることができると感じた。
- ⑧TKC会員事務所から提出される決算報告書は、非常にわかりやすい。会社の全てがわかる。

参加者

日本政策金融公庫国民生活事業高松支店
笠原真二支店長、木村安宏融資第二課長、林秀樹上席課長代理、松田英司上席課長代理、下川博之課長代理、下川尚希様
TKC四国会香川支部
渡邊洋一支部長、田窪滋記会員、石島裕生会員、岡本正雄会員

作成:TKC四国SCGサービスセンター